

メディアワークス文庫『神様の御用人』 累計発行50万部突破！

メディアワークス文庫の大人気ビブリオミステリ 『ビブリア古書堂の事件手帖』最新6巻も大好評発売中!!

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原眞樹、ブランドカンパニー長:塚田正晃)では、大人のためのエンターテインメント・ノベル「メディアワークス文庫」を刊行しています。このたび、メディアワークス文庫『神様の御用人』シリーズ(浅葉なつ 著)1~3巻の累計発行部数が50万部に達しましたので、お知らせいたします。

いつも人間の願いを聞いている神様たち。でも実は、神様にも願いがあるかもしれない……。

『神様の御用人』は、京都を舞台に神様の御用を聞いてまわる「御用人」となったフリーターの青年・萩原良彦(はぎわら・よしひこ)と狐の姿をした方位神・黄金(こがね)が、人間以上に人間味あふれる八百万の神様たちの「御用」に振りまわされつつも、その願いを叶えていく物語です。古事記や民話などに登場する神様の願いと人間との間に生まれる絆を、笑いと涙を交えて温かく描いています。

2013年12月にシリーズ第1巻が発売、翌2014年5月に第2巻が、同年11月にシリーズ最新作となる第3巻が発売となりました。第3巻では、織物の神様・天棚機姫神(あめたなばたつひめのかみ)、お菓子の神様・田道間守命(たじまもりのみこと)が登場、それぞれの願いを叶えるストーリーが展開していきます。くろのくろ氏による、四季を感じさせ情緒溢れるイラストも本シリーズの魅力のひとつです。



また、2014年12月25日に発売となった三上 延 著の大人気ビブリオミステリ、メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』最新第6巻も好調な売れ行きを示しております。「オリコン週間“本”ランキング」では、2015年1月5日付、1月12日付と2週連続で文庫部門第1位に輝きました。

読み終えた後にまた本が読みたくなる大人気シリーズ『ビブリア古書堂の事件手帖』とともに、メディアワークス文庫のあらたなヒットタイトル『神様の御用人』にぜひご注目ください。

← 『神様の御用人』最新第3巻表紙

■メディアワークス文庫『神様の御用人』シリーズについて

【タイトル】神様の御用人 【著】浅葉なつ 【イラスト】くろのくろ

【定価】本体550円～570円(税別)

【発行】株式会社KADOKAWA 【プロデュース】アスキー・メディアワークス

【内容】

神様たちの御用を聞いて回る人間——“御用人”。ある日、フリーターの良彦は不思議な老人から一冊の本を託され、狐神の黄金とともに八百万の神々のもとを訪れて御用を聞くはめになってしまった。かくして、古事記やら民話やらに登場する、人間以上に人間味あふれる神様たちに振り回されることになり……。特殊な力もない、不思議な道具も持ってない、ごく普通の“人間”が神様にできること。それは果たして、助っ人なのか単なる使っぱしりなのか。けれど、そこには確かに、神様たちの「秘めたる願い」と、人間との温かい絆があった。

●『神様の御用人』特設サイト: <http://mwbunko.com/special/sp06.html>



神様の御用人
定価: 本体570円+税
発売日: 2013年12月25日



神様の御用人2
定価: 本体550円+税
発売日: 2014年5月24日



神様の御用人3
定価: 本体570円+税
発売日: 2014年11月22日

■著者プロフィール

浅葉なつ(あさば・なつ)

四国生まれ、関西在住。第17回電撃小説大賞<メディアワークス文庫賞>を受賞。2011年2月『空をサカナが泳ぐ頃』でメディアワークス文庫よりデビュー。著書に、『山がわたしを呼んでいる!』『サクラの音がきこえる』『香彩七色』(以上メディアワークス文庫)がある。趣味は神社巡り。

■メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』最新6巻について



↑ 最新第6巻表紙

【タイトル】ビブリア古書堂の事件手帖6 ～葉子さんと巡るさだめ～

【著】三上 延 【イラスト】越島はぐ

【ページ数】322ページ 【定価】本体570円+税

【発売日】2014年12月25日

【発行】株式会社KADOKAWA

【プロデュース】アスキー・メディアワークス

【内容】

太宰治の『晩年』を奪うため、美しき女店主に危害を加えた青年。ビブリア古書堂の二人の前に、彼が再び現れる。今度は依頼者として。違う『晩年』を捜しているという奇妙な依頼。署名ではないのに、太宰の自筆と分かる珍しい書きこみがあるらしい。本を追ううちに、二人は驚くべき事実と辿り着く。47年前にあった太宰の稀覯本を巡る盗難事件。それには二人の祖父母が関わっていたのだ。過去と現在、まるで再現されるかのような奇妙な巡り合わせに、薄気味悪さを感じる二人。それは偶然か必然か? 深い謎の先にある真実とは?

<ご参考>

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、『ビブリア古書堂の事件手帖』（著／三上 延、最新6巻含めてシリーズ累計発行600万部）、『0能者ミナト』（著／葉山 透、累計発行53万部）、『神様の御用人』（著／浅葉なつ、同50万部）、『探偵・日暮旅人』シリーズ（著／山口幸三郎、同37万部）、などのヒット作品が生まれています。毎月25日発売。

●メディアワークス文庫公式サイト: <http://mwbunko.com/>

■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のiらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー 公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
事業推進局
<http://asciimw.jp/>